

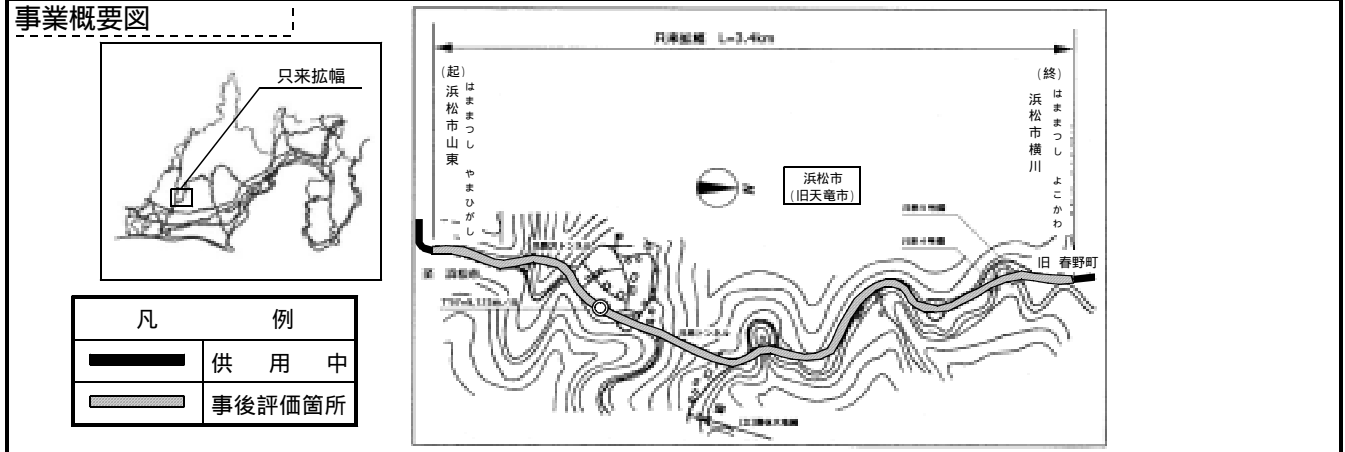
事後評価結果（平成17年度）

担当課：静岡県道路整備室
 担当課長名：鈴木義勝

事業名	一般国道362号 只来拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県 浜松市(旧天竜市) 山東 至：静岡県 浜松市(旧天竜市) 横川			延長	3.4 km

事業概要
 只来拡幅は、一般国道362号の狭隘区間を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした2車線道路である。

事業の目的・必要性
 旧春野町と北遠地域の中心である旧天竜市を結ぶ唯一の幹線道路(第2次緊急輸送路)であり、地域の産業(農林業、観光)振興、高度医療機関へのアクセス確保のため、道路改良事業を実施した。



事業の 効果 等	事業期間	事業化年度: 昭和62年度 都市計画決定: 年度	用地着手: 昭和62年度 工事着手: 昭和63年度	供用年: (当初) / H9 (暫定/完成) (実績) / H12	変動	1.3倍
	事業費	計画時 (名目値) / 4.3億円 暫定/完成 (実質値) / 4.2億円	実績 (名目値) / 4.5億円 暫定/完成 (実質値) / 4.5億円		変動	1.1倍
	交通量 (当該路線)	計画時 暫定/完成	実績 暫定/完成		変動	1.1%

旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)	34.7 (供用直前年次) S58年度	48.8 km/h (供用後年次) H16年度	交通事故減少 (供用前現道 供用後現道)	件/億台キロ (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度
------------------------	------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------------------

費用対効果 分析結果 (当初)	B/C: -	総費用: 億円 事業費: 億円 維持管理費: 億円	総便益: 億円 走行時間短縮便益: 億円 走行経費減少便益: 億円 交通事故減少便益: 億円	基準年: 年
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C: 2.5	総費用: 7.4億円 事業費: 6.9億円 維持管理費: 5億円	総便益: 1.82億円 走行時間短縮便益: 1.63億円 走行経費減少便益: 1.7億円 交通事故減少便益: 2億円	基準年: 平成17年
事業遅延によるコスト増		費用増加額: 億円	便益減少額: 億円	

事業遅延の理由
 当地域唯一の幹線道路であるため、狭隘部の拡幅工事において現道交通確保への配慮による施工性の低下から工事期間が延長したため。

客観的評価指標に対応する事後評価項目
 ・走行時間短縮効果(トンネルによる区間延長の短縮、現道拡幅、線形改良による旅行速度の向上)
 事業区間の通過時間: 約6分短縮(S58: 約10分 H16: 約4分)

その他評価すべきと判断した項目
 ・第2次高度医療機関への30分到達圏の拡大(国道362号沿いについて1.5倍に拡大)
 ・バイパス部の歩道設置による通学路の安全性の向上

事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目
	その他評価すべきと判断した項目 <ul style="list-style-type: none"> ・地形改変量の抑制（トンネルによる切土の回避、他事業との調整による残土の工区内処理） ・切土法面の緑化
事業を巡る社会経済情勢等の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・旧天竜市、旧春野町の高齢化率の上昇、自動車保有率の上昇 ・天竜消防署春野分署の救急出動回数の増加 	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 「改善措置の必要性は特に認められない」（静岡県事業評価委員会意見書より抜粋）	
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特に指摘なし	
特記事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地元小中学校や自治会による「クリーン活動」実施など「協働」の推進 	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを。